



主な記事

- ①自然塾総会を開催
- ②体験プログラムの紹介
- ③写真コンクールについて
- ④地域のページ

平成二十一年度 足利・名草ふるさと自然塾 運営協議会総会を開催

四月十七日(金) 名草公民館
において、平成二十一年度足利・名草ふるさと自然塾運営協議会総会を開催しました。

総会では、二十年度の事業報告、収支決算、アンケート結果についての報告や、二十一年度の事業計画、収支予算案についての議事を行いました。

二十年度の事業としては、様々な体験プログラムを実施し、延べ七一六名の参加者を行いました。

この会議をもって、自然塾の二十一年度事業が始まることとなります。(主なプログラムについては次ページを参照)また、体験プログラムの一層の発展・充実を図って参りますので、皆様の暖かいご支援をいただきたく存じます。よろしくお願いたします。



二十年度 体験プログラム アンケート結果

二十年度も非常に多くの方に、体験プログラムに参加していただきました。その中でいただいたアンケートの結果を抜粋してご紹介いたします。

・田んぼの学校!

「初めての田植え作業をして楽しかったです。ヌルヌルした感触が良かったです。子どもはオタマジャクシ、カエルと触れ合えてとても楽しかったです。」

・大豆の力を学ぼう!

「その道に精通している方(味噌作りでは講師の杉江先生)と一緒に作業する中で、自分が今まで知らなかったことを学ぶ良い機会になりました。また、豆腐作りでは上手に出来なかったように、『たまには失敗もあるぞ』と常にうまく出来るとは限らないという体験ができました。」

・親子でクワガタを育てよう!

「思ったより幼虫がいてびっくりしました。」

・田んぼの学校!加工編 しめ縄づくりと餅つき

「しめ縄が良く出来なくて見ている以上に作るほうが大変でした。お餅はいつもおいしい!」

・私だけのしいたけを作ろう

「しいたけ作りの作業を終えた後の試食は普段スーパードで買って食べるしいたけより数倍もおいしかったです。」

・里山の伝統 炭焼きを体験!

「子どもが真っ黒な顔をして窯から出てくる姿を見て、参加してよかったと思いました。」

その他、「楽しかった」「また参加したい」といった感想や「もっとスムーズに運営したほうが良い」「もう少し説明をしてほしい」といったご意見もいただきました。このアンケート結果をふまえ、二十一年度の体験プログラムもより充実させた内容で実施いたしますので、皆様のご参加をお待ちしております。

足利・名草ふるさと自然塾 平成21年度体験プログラム予定一覧

プログラム名	日程および内容	受付開始	募集人数(組)
ロープを使って木に登ろう	5月24日 ツリークライミング体験	5月7日	15名
田んぼの学校!	6月14日 田植え 7月21日 観察会、ネイチャーゲーム 10月18日 稲刈り	5月15日	40組
田んぼの学校!(加工編)	12月20日 しめ縄づくり、餅つき	12月1日	30組
大豆の力を学ぼう!	7月5日 種まき、豆腐作り 1月31日 味噌作り	6月1日	12組
クワガタを育ててみよう!	7月12日 成虫の飼い方 9月13日 幼虫の育て方	6月15日	10組
田舎体験ツアー	7月26日 名草での自然体験ツアー	6月15日	40名
そばをみんなで育てよう!	8月16日 種まき、川の観察会 9月6日 畝たて、間引き 12月6日 そば打ち	7月15日	12組
私だけのしいたけを作ろう!	3月7日 しいたけの植菌	2月1日	30組
里山の伝統 炭焼きを体験!	2月28日 窯入れ、ピザ焼き 3月14日 窯出し	2月1日	20組
フラワーフェスティバル	9月6日 イワナのつかみ取り、水鉄砲づくり、竹とんぼづくり、ピザ焼きなどのイベントを実施		—
名草ふるさと収穫祭	10月25日 各体験プログラム参加者による交流		—

※日程については変更になる場合があります。ホームページ、チラシ等で近くなりましたらお知らせします。



昨年度
実施の様子



名草の魅力を探せ！写真コンクール

名草の美しい風景や、名所・旧跡など名草の魅力を収めた写真のコンクールを実施します。季節ごとに咲き誇る花々、歴史ある文化財など名草ならではの魅力を発見して、写真に収めてください。

◆題材

- ・名草で行われるイベントの風景
- ・神社仏閣、名所、旧跡等の文化財
- ・自然、風景等名草地区の特色を現したものの
- ・名草に住む人々の生き生きとした表情

◆サイズ

カラーのプリント単写真で六つ切りサイズ
(デジタルカメラの作品でも、上記のサイズにプリントしたものであれば可)

◆応募上の注意

応募資格は、プロ・アマ問いません。作品は締め切り前 1 年以内に撮影された自作品で、未発表のものに限ります。応募点数は何でも結構ですが、入賞は 1 人につき 1 賞とします。応募作品 1 点ごとに応募票を裏面に貼付してください。

◆締め切り

平成21年10月19日(月) 持参または郵送にて受付(郵送の場合は当日消印有効)

◆審査

主催者および後援団体 ※審査の結果は応募者全員に文書で通知します

◆展示

応募いただいた作品は11月に行われる名草地区文化祭にて展示し、入賞作品は足利市ホームページに掲載します

◆賞

- 会長賞 1名 賞状、副賞3万円
- 名草地区地域振興推進協議会長賞 1名 賞状、副賞2万円
- 名草地区観光協会会長賞 1名 賞状、副賞1万円

◆応募先、問合せ先

〒326-8601 足利市本城三丁目2145 足利市役所農務課内
足利・名草ふるさと自然塾運営協議会事務局「写真コンクール」係
電話 0284-20-2161

◆主催

足利・名草ふるさと自然塾運営協議会

◆後援

名草地区自治会、名草観光協会、名草地区地域振興推進協議会

(応募票は下記要領で自作でも可)

(切り取り線)

2009年名草の魅力を探せ！写真コンクール応募票	
住所(〒 -) 電話 ()	
氏名 男・女 (才)	
撮影年月 年 月	撮影場所
題名	
職業	

2009年名草の魅力を探せ！写真コンクール応募票	
住所(〒 -) 電話 ()	
氏名 男・女 (才)	
撮影年月 年 月	撮影場所
題名	
職業	

五月四日、五日 弁天まつりが開催されます

弁天まつり(厳島神社例大祭)が五月四日～五日にかけて行われます。この祭りは地元で「弁天さま」の愛称で親しまれている厳島神社で毎年開催されているもので、地域の各団体が参加して、地場製品の販売や、各種催しが行われます。

ところで、厳島神社の起源については、はっきりとしたことは判っていませんが、次のような言い伝えが残されています。

伝説によれば弘仁の頃(八一〇年～八二四年)空海(弘法大師)がこの地にお出でになって山奥に入ろうとすると、大蛇が横たわっていたので法を修したところ、大蛇が動いて巨石の中に入ってしまった

ので、これは弁財天の出現であるとして弁財天をおまつりしたのであると言い伝えていくように、はじめは現在天然記念物に指定されている大石を弁財天として尊信していました。

この伝説は江戸神田上水の水源の守護神が井の頭の弁財天であり、近くは佐野市赤見出流原の弁財天の如く、古来インドで下流の女神として尊ばれていた弁財天を名草川水源の守護神とし、その使者として蛇を配しているのがあって、古来より農耕水源の守護神として弁財天がまつられていたことを物語っています。

その後、明治時代の神仏分離により、現在の厳島神社へと改称されて現在に

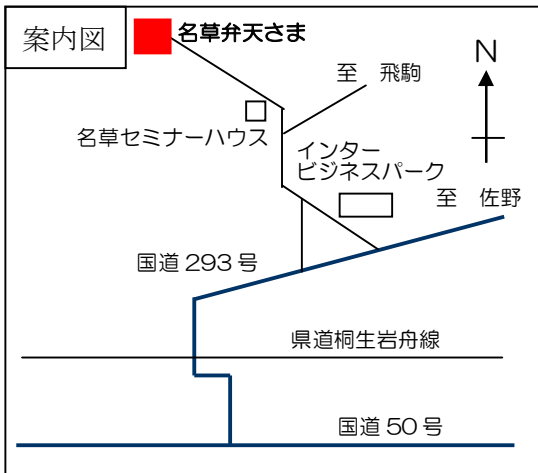
至っています。

従来五月の初巳の日に例大祭を行い、また巳年ごとに開帳を行っていましたが、現在では例大祭を五月の四日と五日に行っています。

春の陽気に誘われて、名草の弁天さまへ足を伸ばして見ませんか？

(参考資料)

足利市名草観光協会編『足利県立公園 名草厳島神社(弁財天)について』



足利・名草ふるさと通信では、自然塾の情報、名草の情報を発信して参ります。名草の身近な情報をお寄せください。

【連絡先】足利・名草ふるさと自然塾運営協議会

(事務局) 足利市 産業振興部 農務課

電話 0284-20-2161

FAX 0284-21-0643

メール info@ashikaga-nagusa.com

ホームページ <http://www.ashikaga-nagusa.com>

(ホームページでは体験プログラムの情報、名草の名所紹介などを掲載しています。ぜひご覧ください。)

名草里山の会 女性部員募集のお知らせ

名草里山の会では女性部の設置に伴い、部員の募集を行っています。

自然塾のサポーター、支援活動が主な活動になります。具体的には自然塾の体験プログラムのもてなし活動等、都市住民との交流の一翼をお願いすることになります。

○募集人数 先着20名

○お申込み・お問合わせ

名草里山の会理事長 青木まで

TEL 0284-41-9046

携帯 090-3479-0249